

令和4年1月20日

## 新型コロナウイルスに関する施設利用上の注意について 福岡市美術館

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の利用にあたっては通常の利用上の注意に加えて、下記の厳守事項の徹底が利用条件となりますので、ご理解ご協力をお願いします。

またミュージアムホールの利用申請者は、利用許可申請書とあわせて書類【イベント開催時のチェックリスト】もご提出ください。

※イベント開催時のチェックリストは、対象項目のみチェックを入れてください。  
これらの条件は、今後の状況により変更する場合があります。利用内容によっては、最大定員でご利用できない場合がありますので、必ず事前にご相談ください。

### ■参加者の定員の目安について

イベントの種類	歓声・声援等なし	歓声・声援等あり
	クラシック音楽コンサート、演劇等、 舞踊 伝統芸能、芸能・演芸、公演・式典、 展覧会等	ロック、ポップスコンサート等
収容率	-	収容人数50%以下
ミュージアムホール	180名	86名
アートスタジオ	72名	36名
レクチャールーム	54名	25名

※利用内容によっては、最大定員でご利用できない場合があります。

【お問い合わせ】 福岡市美術館 広報運営グループ  
〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6  
TEL:092-714-6051 (9:00～18:00 ※休館日を除く)

## 施設利用上の厳守事項

### ■ 体調確認の実施

- ・主催者は、利用日に必ず検温を行い、健康状態を確認の上、利用ください。発熱等の症状のある方のご利用は自粛ください。
- ・非接触型体温計等を主催者で用意し、参加者全員の検温を行うようにしてください。

### ■ マスクの着用

- ・主催者、出演者、参加者は全員マスクを着用するようにしてください。参加者でお持ちでない方に対しては、主催者でマスクを配布し、未着用者がでないようにしてください。
- ・開催告知の際に「マスク着用での来館」を明記するようにしてください。

### ■ 換気について

- ・利用の前後や休憩時に出入口の扉を開放し、換気をお願いします。

### ■ 感染者との接触確認対策の徹底

- ・開催前に、参加者に接触確認アプリ(COCOA)のインストールを呼びかけてください。  
※アプリのQRコードを入口に掲示すること等
- ・参加者に会話をする際は可能な限り真正面に向き合うことを避けるように呼び掛けてください。
- ・参加者に催事前後や移動中における感染防止のための適切な行動(感染リスクのある行動の回避)を行うよう呼び掛けてください。  
※交通機関、飲食店等の分散利用

### ■ 手指の消毒

- ・参加者全員に施設入室時の手指消毒を行うようにしてください。参加者用の手指消毒液は、主催者でご用意ください。なお、手指消毒液への誘導サインを行うとともに必要に応じて係員を配置してください。

### ■ 参加者リストの管理

- ・主催者は、参加者リストの管理(氏名、連絡先等)を行ってください。また集団感染(クラスター)が発生したと疑われる事例が発生した場合は、参加者リストの提出等保健所・医療機関等へ出来る限りの協力を行うようにしてください。

### ■ 参加者の入退場時等の対応

- ・入退場時の制限や誘導を行い、人と人の距離(できるだけ2m)を確保してください。

■ 対面する場所での感染予防対策

- ・参加受付、物品販売等を行う場合は、飛沫感染予防アクリル板を設置するなど、感染予防対策を講じてください。

■ 金銭の受け渡し、チケットもぎりについて

- ・参加料徴収や物品販売等を行う場合は、トレーでの金銭受け渡し、チケットもぎりは手袋着用で行うようにしてください。

■ 出演者の対応について

- ・出演前には消毒、待機場所等での間隔の確保、参加者と接触する演出の禁止など徹底をお願いします。

■ その他

- ・公益財団法人全国公立文化施設協会が作成した「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき対策を行うようにお願いします。

# イベント開催時のチェックリスト

【第1版(令和3年11月版)】

## 基本的な感染防止

イベント開催時には、下記の項目(イベント開催時の下記の項目(イベント開催時の必要な感染防止策)を満たすことが必要です。

※ 5,000人かつ収容率人かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントご超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

### ①飛沫の抑制(マスク着用や大声を出さないこと)の徹底

#### 【大声なしの場合】

飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク(品質の確かな、できれば不織布)の正しい着用や大声(※)を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる。

#### 【大声ありの場合】

「大声なしの場合」の「大声」を「常時大声を出す行為」と読み替える。

### ②手洗、手指・施設消毒の徹底

こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す(会場入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施。)

主催者側による施設内(出入口、トイレ、共用部等)の定期的かつこまめな消毒の実施。

### ③換気の徹底

法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気(1時間に2回以上・1回に5分間以上等)の徹底。

### ④来場者間の密集回避

入退場時の密集を回避するための措置(入場ゲートの増設や時間差入退場等)の実施。

休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や導線確保等の体制構築。

大声を伴わない場合には、人と人とが触れ合わない間隔、大声を伴う可能性のあるイベントは、前後左右の座席との身体的距離の確保

# イベント開催時のチェックリスト

【第1版(令和3年11月版)】

## 基本的な感染防止

イベント開催時には、下記の項目(イベント開催時の下記の項目(イベント開催時の必要な感染防止策)を満たすことが必要です。

※ 5,000人かつ収容率人かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとのイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

## ⑤ 飲食の制限

- 飲食時の感染防止策(飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策)の徹底。
- 飲食中以外のマスク着用の推奨。
- 長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外(例:観客席等)は自粛。
- 自治体等の要請を踏まえた飲食・酒類提供の可否判断(提供する場合には飲酒による大声等を防ぐ対策を検討。)

## ⑥ 出演者等の感染対策

- 有症状者(発熱又は風邪等の症状を呈する者)は出演・練習を控えるなど日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する。
- 練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。
- 出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる(誘導スタッフ等必要な場合を除く。)

## ⑦ 参加者の把握・管理等

- チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握。
- 入場時の検温、有症状(発熱又は風邪等の症状)等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止。
- 時差入退場の注意喚起や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意

上記に加え、各業界が定める業種別ガイドライン(該当する業種において策定されている場合)を遵守すること。

# イベント開催時のチェックリスト

【第1版(令和3年11月版)】

開催概要		
イベント名		
	<small>(開催案内等のURLがあれば記載)</small>	
出演者・チーム等		
	<small>(多数のため収まらない場合 → 別途、一覧をご提出ください。)</small>	
開催日時	令和 年 月 日 時 分 ~ 時 分	
	<small>(複数回開催の場合 → 別途、開催する日時の一覧をご提出ください。)</small>	
開催会場	福岡市美術館/ミュージアムホール	
会場所在地	福岡市中央区大濠公園1-6	
主催者		
主催者所在地		
主催者連絡先	<small>(電話番号)</small>	<small>(メールアドレス)</small>
収容率 (上限)	<input type="checkbox"/> 100% (大声なし)	<input type="checkbox"/> 人と人が触れ合わない 程度の間隔
	<input type="checkbox"/> 50% (大声あり)	<input type="checkbox"/> 十分な人と人との間隔 (できるだけ2m、最低1m)
収容人数		
参加人数		
その他特記事項		
	<small>(大声なしの場合は、大声なしと判断した理由や、大声を伴わないことを担保する具体的な対策を記載ください。)</small>	

(※) 大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当することと整理する。